

令和2年12月

NO.52

公立学校共済組合東北中央病院 地域医療連携室・入退院支援室

TEL 0120-703-995 FAX 0120-168-990 代表 TEL 023-623-5111

医療連携につきましては、日頃よりご協力いただき、誠にありがとうございます。

▷ 第17回 和GO懇話会

令和2年11月26日（木）山形国際ホテルで、「第17回和GO懇話会」を開催しました。前回の開催に引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策のため、参加者の皆様には消毒及びマスク着用のご協力をお願いし、会場内では座席間隔の確保と換気を徹底しての開催となりました。関係医療機関の先生方にご参集いただき有意義に開催されましたことに、厚く御礼申し上げます。

一般演題

『検脈の重要性 ～心房細動の日常診療～』

演者：循環器科部長 須藤 直行 医師（写真左）

座長：佐藤清医院 院長 佐藤 清 先生（写真右）



心房細動は脳梗塞を引き起こす原因となる疾患です。しかし、心房細動が原因で脳梗塞を発症した患者の約46%は、心房細動が未診断であることが分かっています。心房細動が発見された際には、心房細動による脳梗塞発症リスクを評価する指標：CHADS2（チャズ・ツー）スコアを用い評価、抗凝固剤の服用を開始する等治療を施すことが脳梗塞予防につながると考えられます。無症候のうち心房細動を早期発見し脳梗塞予防に繋げるため、患者に対し日頃から自己で検脈ができるように指導することが重要であると話をいただきました。

特別講演

『肝硬変の診療アップデート』

演者：山形大学医学部附属病院 第二内科 教授

上野 義之 先生（写真左）

座長：消化器・肝臓内科部長 石濱 活義 医師（写真右）



山形県は肝臓癌の罹患率、死亡率ともに全国で一番低いです。以前は東北地方の中でも高い時期がありましたが、県が数値目標を設定し肝炎対策に取り組んだ結果と言えます。肝細胞癌を発症させる要因は肝炎ウイルスによるものと、多量飲酒、喫煙、肥満、糖尿病などから二次的に発症するものに分けられます。二次的要因で発症する肝硬変は自覚症状が出にくく、近年増加傾向にあります。治療においては日本消化器病学会・日本肝臓学会の共編で2020年診療ガイドラインがあり、治療の指標となっています。効果が立証されているが保険適用未認可である薬品が多い状況であるため、今後期待し治療を続けたいとお話をいただきました。

今後も地域医療の発展のため、先生方の御要望をお聞きしながら尚一層の努力を重ねて参ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

